

第2回井野長割遺跡住民説明会議事要録

日時:平成25年8月10日(土) 10時~12時 於:志津コミュニティセンター 参加者:文化課4名(田中課長、宍戸班長、小倉・松田学芸員)、住民6名(男性3名、女性3名)

発言者	意見・質問	回答(文化課)
A	<p>歴博とのコラボ(歴博に井野長割遺跡を紹介するコーナーを設ける)でも活用の意義があるのでは。そもそも園路整備をなくても保存・活用(可能)との意見が多かった。委員はここに施設を設けることが前提でいて、やり方をどうするかというところからスタートしているのか。保存・活用のあり方を含めてどういう認識でいるのか。</p>	<p>現地に足を運んで見てもらうために整備するスタンスでいる。歴博とのコラボは考えられるが、遺跡は遺跡で整備し、コラボはコラボでいろんなイベントをしていくという両輪で考えている。</p>
A	<p>委員会に添付した住民の意見が、かなりコンパクトに要約されているけれども、前回の説明会では、整備についてかなり反対意見が多かった印象がある。そのことについて、委員会で俎上にのったのか、のらなかったのか。のらなかったとしたら、前回の説明会がもったいない。説明会でどういうやりとりがあったのかということをもとめなければ、説明会の場がきちんと理解されないのではないかと。全体を客観的にとらえる表記にしたい。</p>	<p>反対意見については委員会に報告した(「園路整備は不要である」という部分)。委員からは、整備について住民に丁寧に説明して理解していただくように言われた。整備はするけれども、その手法をどうするかを皆さんの意見を聴きながら委員会に反映させて考えていきたいということ。(委員会に添付する資料は)もう少し細かい記述でまとめるということか。</p>
B	<p>これだけ(要点)だけを見ると、基本計画の全体論としては合意しているけれど、園路整備は不要であると捉えられてしまう。そもそも基本計画を立てて進めることに、情報発信不足という中でいろいろな反対意見があったという雰囲気を感じて欲しい。(要点を見ると)園路整備について、整備・活用していくと締めくくられているから、住民が納得しているように捉えてしまう。整備が前提であるならば、整備の中身をどうするかを聞いていただければ意見を申し上げることができる。</p>	<p>住民の意見を聴きながら委員会で検討をしていく。まずは、安全防犯対策が重要なので意見を頂戴し、次回10月頭の委員会に事務局でまとめて提示する。委員会の意見を住民に伝えて事務局で案を作成する。次回の委員会まで時間があるので、集まってもいいし、ペーパーで提出していただければ委員会に諮る。これが最後の機会ではなく、継続していくので、今のご意見を聴きたい。</p>

発言者	意見・質問	回答(文化課)
B	<p>そもそもなぜ保存・整備が必要かと(文化課職員に)聞いたとき、今のままでは森が駄目になるので、手を入れてきれいにならなければならないと言われた。森を保護・整備するところで、住民は力を発揮できる。森として整備するために、施設をおくとか園路を造るということであれば、住民が積極的に参加して森を整備する。何をすべきか教えていただければグループを作って進められるので検討願いたい。住民としては整備をやって欲しくない。なるべくなら手を入れないで欲しいので、住民が手伝う形で整備の軽減をしたい。こういう意見を委員会の俎上に挙げていただきたい。</p>	<p>円卓形式で相互に学習・勉強会という形で議論の場を設けて、定期的に集まって具体的な絵を描くことは可能か。</p>
B	<p>そもそも勉強会が可能か。やることによって整備が軽減されるならやる価値はある。(お手伝いする)具体的な人数や活動回数を事前に用意してやりたいが、そういう流れが正しいのかわからない。整備が軽減される可能性はあるのか。</p>	<p>隣接住民と協議するという前提で進めるので、委員会に住民の意見は出す。事務局案と住民案の両方を委員会に出すことは可能だが、事務局としては整備をする立場であるので、整備をしない前提での協議はできない。整備の仕方を探っていく場であるならば可能。整備が前提で、学習の場・勉強の場・案を作成する場と考えたい。</p>
B	<p>住民参加型の整備、ソフトの整備が書いてるが、住民だけでなく他の人ともやっていきたい。当然事務局に音頭取りはしてもらわなければならないが、多くの人に声掛けしてこれだけの人数・時間協力することがわかってもらえるようなものを出したい。住民が参加することで、防犯や園路の話にも関連してくる。住民の目があればカメラはいらないし、迷惑駐車にしても口頭で注意はできる。三角コーンや看板は景観を損なう。ただし、私個人の意見であり、なんでもできるわけではないので、事務局で体制を整えていただきたい。ソフト面をどれだけやるかでハード面が変わる。</p>	<p>ソフト面の体制作りでカバーできるところはカバーしていくということで、ハード面とソフト面の整備の中で、皆さんと意見調整しながら具体的な方策を考えていきたい。</p>
B	<p>整備に協力できる署名集めはできる。どういったレベルまでが活用であるのか、私の意見が必要か。委員会に意見を提出していただけるのであれば、ストレートにコミュニケーションができる。</p>	<p>今日のお話は委員会に諮るので、資料を作っていたかたい。そのまま(書いたものを)提出して構わなければ委員会に出す。</p>

発言者	意見・質問	回答(文化課)
A	現状の保存・管理に何か運用ルールはあるのか。放置して森が駄目になるからしているのか。ここのところ草刈りしていないような印象がある。	特にルールはないが、草刈り・剪定の予算はついているので、シーズンを考えて実施している。現状は、谷は人が歩かない前提でしていないが、平坦面は定期的に行っている。草は遺構保護のために刈り残してある。マウンドは人が登ったり滑ったりすれば崩壊してしまうので、マウンドを保護するためにマウンドの上には園路は造らないで下を歩いて見てもらう。井野っ子山のようなチップを敷いて自然に固まって散策路になればいいのでは。
C	森に人が出入りするような雰囲気にしてほしくない。穏やかな生活ができない。	
A	会議の説明の中で、割愛したの(その他)は何か。	普及活動のこと。井野小学校で土器作りを行ったこと(NHKで放映されたこと)を報告した。
B	園路はどんなかたちであっても反対。森の中に人が入らないのが一番の保護。マウンドが見えないのであれば見えるように草刈りをする。保護のために園路を造るという理屈はおかしい。活用は園路を引いて近くで見ないと活用と言えないのか。どれぐらいの距離で活用になるかという線は引けない。	(事務局は)中に入って見てもらうのが活用、Bさんは外から見るのが活用ということ。
A	園路整備は反対である。園路は決まっていないということだが、想定エリアは平坦面だけか。谷は草刈りしていないが整備はしないのか。	基本計画では台地上で計画しており、谷は想定していない。将来的には発掘調査を考えているが、そこで何か発見されれば何らかの公開のしかたを考えるので、まったく手を付けないというわけではない。
D	住民として森をきれいな状態で保存していくという方向については賛成。	

発言者	意見・質問	回答(文化課)
B	委員会は年4回ですか。まだやり続けるのか。実施計画になった段階で終わりか。委員会の次はないのか。委員会ですべて決めるのか。	委員会は期限を決めていないので、整備が終わった段階で役目は終わる。委員会で検討してもらうが、決めるのは市である。住民の意見を聴く制度(パブリックコメント)があるので、そういうことは行う。
B	そもそも園路についてはまだどこにどうやるかは決まっていな いとの話であったので、園路について住民と摺合せというのは おかしい。園路の案があるなら教えてほしい。今はない前提で 話をしているので、(案が)あれば解釈はかわる。	(Bさんの)案を提出していただき、事務局でも案を作って委員 会に諮りたい。ここにいらしてない方も含めて多くの意見をい たきたい。